

SMI（堺・モビリティ・イノベーション）プロジェクト 令和 8 年度 SMI 都心ライン実証実験を実施します ーレベル 4 自動運転移動サービスの実現に向けてー

堺市では、堺駅・堺東駅間において SMI 都心ラインの導入に向け、実証実験を実施します。

今年度は、大小路筋におけるレベル 4 自動運転移動サービスの実現に向け、AI を活用した駐停車車両回避システムや走行空間の整備による効果検証を実施します。

併せて、大阪・関西万博の記憶や理念を次世代へ継承し、万博レガシーに触れる機会を提供するため、大阪・関西万博の大屋根リングに使用された木材を活用したベンチを設置するなど、バス待合環境の向上を図る待合・休憩スペースを整備します。また、デジタルサイネージによる情報発信の実証実験を実施し、堺都心部の便利で快適な移動環境の構築をめざします。

1 概要

実証実験では、小型バス及び大型バスを活用した自動走行の検証に加え、自動運転を妨げる駐停車車両の抑制を図る走行空間を整備し、その効果を検証します。

また、堺駅及び堺東駅の駅前広場周辺では、大阪・関西万博の大屋根リングに使用された木材を活用したベンチ等を設置した待合・休憩スペースの創出やデジタルサイネージによる情報発信を行い、利用実態や効果を検証します。

(1) 自動走行実証実験

AI を活用した自動運転システムを小型バスに導入し、自動運転を阻害する主要因である駐停車車両を回避する実証実験を実施します。

また、堺市では初めてとなる大型バスによる自動走行の実証実験を実施し、導入に向けた課題の把握及び検証を行います。

実験期間	令和 8 年 12 月 1 日（火）～令和 9 年 2 月 26 日（金） 小型バス：12 月 1 日（火）～1 月 15 日（金） 大型バス：1 月 18 日（月）～2 月 26 日（金） ※実証実験の進捗状況に応じて、期間を 2 週間程度延長する可能性があります。
------	---

実験車両	 小型バス（BYD J6）  大型バス（BYD K8）
運行ルート	堺駅前～堺東駅前（片道約 1.7km）
体験乗車期間 予約方法等	体験乗車は、令和 9 年 2 月を予定しています。実証実験の進捗を踏まえ、1 月中旬に開始時期や予約方法等の詳細を以下の堺市ホームページでお知らせします。 https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/smi_project/jikkenn/R8toshonline.html
乗降場所	堺駅前及び堺東駅前
自動運転 レベル	レベル 2（運転士が同乗）

（2）走行空間実証実験

自動運転の手動介入の低減及び自動運転率の向上をめざし、防護柵を設置して停車帯の一部を縮小することで駐停車車両を抑制し、走行空間を確保する実証実験を実施します。また、自動運転率の変化や駐停車車両の変化を検証します。

実験期間	令和 8 年 12 月 1 日（火）～令和 9 年 2 月 12 日（金） ※実証実験の進捗状況に応じて、2 週間程度延長する可能性があります。
実施箇所	堺郵便局前～堺地方合同庁舎前

（3）バス待合環境の改善に向けた実証実験（待合・休憩スペース創出及び情報発信）

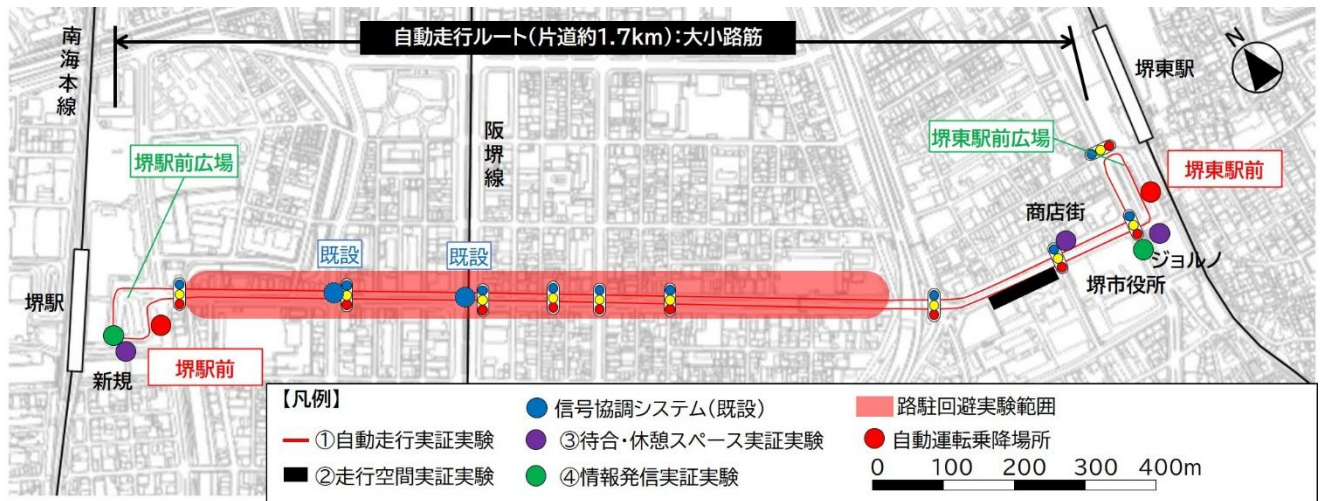
待合・休憩スペースは、令和 7 年度に設置したジョルノ前を拡張するほか、堺駅前に新設し、利用者の滞在時間や利用方法、求められる機能等を検証します。

また、ジョルノ前及び堺駅前には、大阪・関西万博の大屋根リングに使用された木材を活用し、大阪公立大学都市計画研究室と連携して製作したベンチ等のファニチャーを設置します。

情報発信では、ジョルノ前及び堺駅前に設置するデジタルサイネージを活用し、公共交通のリアルタイム運行情報や地域情報を発信することで、利便性向上や堺都心部の魅力発信の効果を検証します。

実験開始	令和 8 年 11 月上旬
実施箇所	<待合・休憩スペース> ・堺東商店街前（既存）、ジョルノ前（拡張）、堺駅前（新設） <デジタルサイネージ> ・ジョルノ前（既存）、堺駅前（新設）

(4) 自動運転実証実験及びバス待合環境の改善の実証実験の位置



(5) 実証実験の実施内容

実験概要			
①自動走行		②走行空間整備	
 使用バス車両	レベル2 自動走行 (運転士同乗) を実施 ・小型バス走行 ・大型バス走行 ・信号協調を継続実施	 走行空間設置イメージ	走行空間整備 ・停車帯を縮小し、駐停車車両を抑制することで走行空間を確保し、自動運転率の向上を図る
③待合・休憩スペース		④情報発信	
 堺駅前設置イメージ	待合・休憩スペースの新規追加して実施 ・堺東商店街前（ファミリーマート前）、ジョルノ前に加え、堺駅前広場で実施 ・滞在時間や利用率を調査し、居心地の良さを検証	 表示画面イメージ	情報発信箇所の追加 ・ジョルノ前に加え、堺駅前広場で実施 ・令和7年度にニーズが高かった運行情報等のリアルタイム情報を発信予定 ・情報発信による効果を検証

2 背景・目的

人口減少や高齢化の更なる進展に加え、バス運転士不足が深刻化する中、SMI 都心ラインでは、自動運転をはじめとする先進技術を活用し、堺駅・堺東駅間の高頻度な運行サービスを維持・向上しつつ、省人化の効果を他路線に波及させて地域公共交通の維持・確保につなげます。

今回の実証実験では、レベル 4 自動運転移動サービスの実現に向けた技術的課題の解決を図ることに加え、待合環境や情報発信機能の向上等を通じ、すべての人が便利で快適に移動できる環境の構築をめざしています。

3 その他

実証実験の詳細は、以下の堺市ホームページをご確認ください。

「自動運転などの先進技術を活用した実証実験（令和 8 年度 SMI 都心ラインにかかる実証実験）」

https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/smi_project/jikkenn/R8toshinline.html

問 い 合 わ せ 先	担 当 課：建築都市局 交通部 交通政策課 電 話：072-340-0417 ファックス：072-228-8468
----------------------------	---